



令和 7 年 6 月 16 日

国土交通省関東地方整備局

東京港湾事務所

東京港の物流を支える新たなコンテナターミナルの整備

～ 1,600 トン吊り起重機船を用いた「ジャケット」の据付～

東京港湾事務所では、東京港中央防波堤外側地区において Y 3 コンテナターミナルの整備を進めています。このたび、岸壁の主要部分となるジャケットの据付を行います。

- 東京港における国際コンテナ貨物需要の増加とコンテナ船の大型化に対応するため、中央防波堤外側地区において水深－16m、延長400mの耐震強化岸壁を有する Y 3 コンテナターミナルの整備を進めています。
- 耐震強化岸壁は、鋼管杭（長さ約50m）を地盤に打ち込んだ後に、ジャケット（高さ15m、長さ48m、幅15m、重さ333トン）を吊り上げて、ジャケットの脚（レグ）を鋼管杭に被せることで一体化構造とする「ジャケット式栈橋」で築造します。
- このたび、第1・第2基目のジャケットの据付を行うことになりました。
- 据付実施日は令和7年6月26日（木）に1基目、令和7年6月27日（金）に2基目を予定しておりますが、工事の工程や天候等によって順延する可能性があります。
- 据付当日の現地取材は受け付けておりませんが、ジャケットの据付に関する資料・写真映像の提供を予定しています。

資料・写真映像を希望される方は、令和7年6月25日（水）12時までに別添の資料申込書でお申込みください。

<発表記者クラブ> 竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、横浜海事記者クラブ、
東京都庁記者クラブ、物流専門紙

<問合せ先>

国土交通省 関東地方整備局 東京港湾事務所

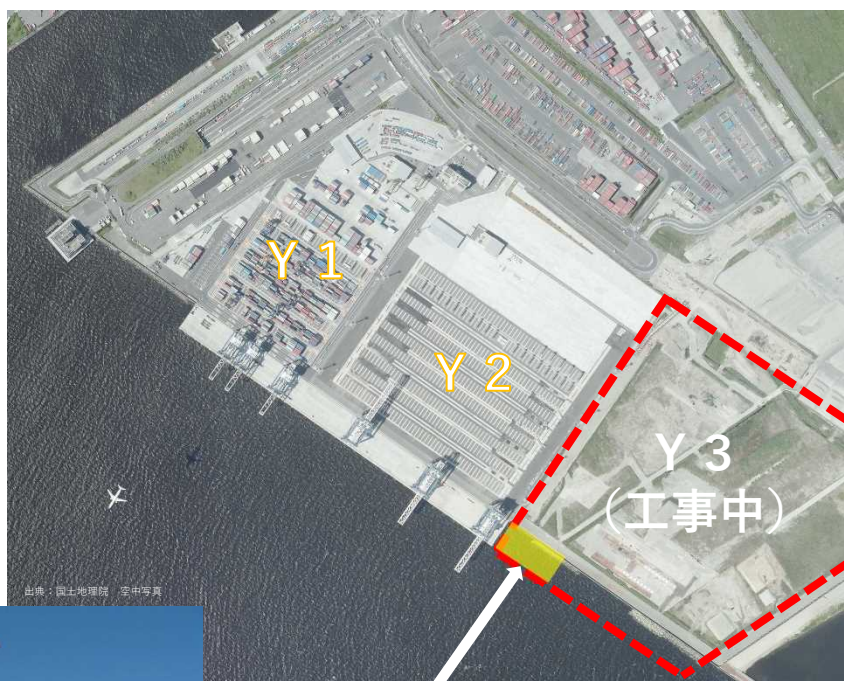
電話：03-5534-1360 メールアドレス：info-t83ab@mlit.go.jp

（工事に関すること） 副所長（技術）工藤、前任建設管理官 近藤

（資料・写真映像希望に関すること） 副所長（事務）田口、総務課長 倉科

中央防波堤外側国際海上コンテナターミナル（Y3） 岸壁築造工事の概要

- 東京港における国際コンテナ貨物需要の増加とコンテナ船の大型化に対応するため、中央防波堤外側地区において水深-16m、延長400mの耐震強化岸壁を有するY3コンテナターミナルの整備を進めています。
- 岸壁はジャケット式栈橋で築造され、合計25基のジャケットを設置する計画としています。
- 現在、三重県津市にてジャケット4基の製作を進めるとともに、現地にてジャケットを支える基礎となる鋼管杭の地盤への打ち込みを進めているところです。
- 今回の施工範囲の大部分が東京国際空港の延長進入表面（航空機が安全に離着陸するため、障害物がない状態にしておく空間）に抵触するため、起重機船での鋼管杭やジャケットの吊り上げ高さをTP+102.4m未満に抑えなければなりません（TP：東京湾中等潮位）。
- このため、現地では、長さ約50mの鋼管杭を2分割して、地盤への打ち込みの途中で溶接して1本の杭基礎とする作業を行っています。
- ジャケットの据付にあたっては、ジャケットの脚（レグ）を鋼管杭に被せる作業を、起重機船によるジャケットの吊上げ高さに留意しながら行います。
- また、本工事では、隣接するY2コンテナターミナルを使用する船舶の妨げになることのないよう、海上作業時間の制限や作業船の待避なども必要となっています。



～ 実施中の工事 ～

R5d東京港中央防波堤外側地区岸壁（-16m）（耐震）築造工事

- ・ 工事概要 : 工事製作工、本体工、付属工、雑工、仮設工
- ・ 工期 : 令和6年3月7日～令和8年2月27日

ジャケット式栈橋の築造方法

ジャケット式栈橋の特徴

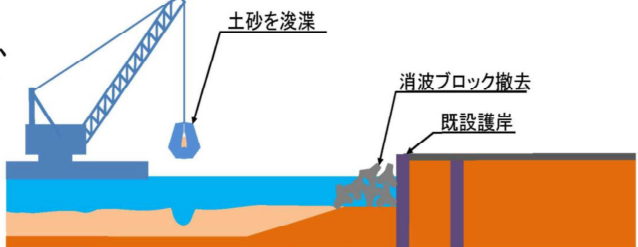
- 耐震性：大水深や軟弱地盤においても高い水平剛性が確保されます。
- 高品質：ジャケットは管理の行き届いた工場で製作されます。
- 施工性：従来の栈橋構造と比べて、海上工事の期間を短縮することができます。

ジャケット式栈橋の工事手順

浚渫工 撤去・掘削工

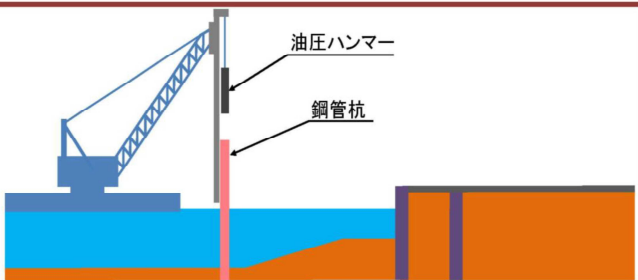
地盤改良工

航路や航路泊地の浚渫を行い、ジャケット据付部の障害物を撤去し土砂掘削します。既設護岸では、地盤改良し、沈下や流動対策を施します。



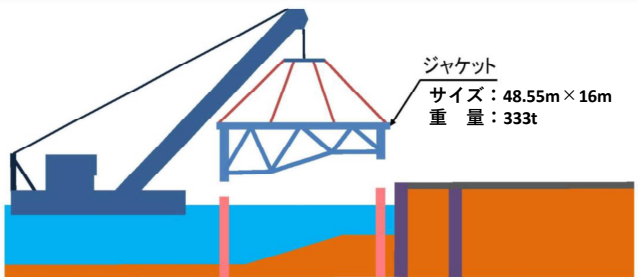
基礎工

上部構造物（ジャケット）を支える基礎となる『鋼管杭』を製作し、岸壁となる地盤に打ち込みます。



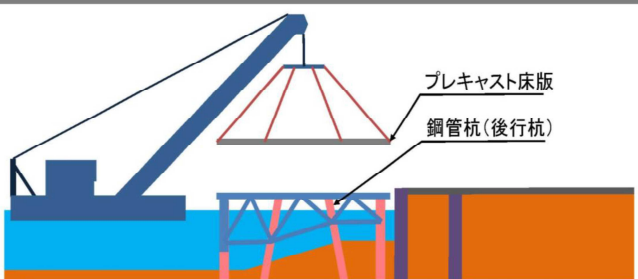
本体工

岸壁の土台となるジャケットを製作し、現場まで海上輸送して、大型クレーン船で据付します。



上部工

ジャケット据付後、後行杭を打設し、プレキャスト床版を設置します。最後に表面を舗装して完成。



令和5年度東京港中央防波堤外側地区岸壁(-16m)(耐震)築造工事では、下記の日程でジャケットの据付を予定しています。

第1基目・第2基目 令和7年6月26日(木)・27日(金)

第3基目・第4基目 令和7年7月10日(木)・11日(金)

参考資料

港の役割と暮らしとの関わり

人と物との玄関口

<https://www.pa.ktr.mlit.go.jp/kyoku/databook/s1.htm>

海辺の憩いと潤い

<https://www.pa.ktr.mlit.go.jp/kyoku/databook/s2.htm>

環境・防災対策

<https://www.pa.ktr.mlit.go.jp/kyoku/databook/s3.htm>

新しい産業の拠点

<https://www.pa.ktr.mlit.go.jp/kyoku/databook/s4.htm>

東京港の歴史

<https://www.pa.ktr.mlit.go.jp/tokyo/history/index.htm>

東京港の現在（東京港埠頭（株）HPより）

世界につながる東京港

<https://www.tptc.co.jp/guide/advantage/world>

首都圏4000万人の生活と産業を支える東京港

<https://www.tptc.co.jp/guide/advantage/metropolitan>

コンテナ埠頭の機能（東京港埠頭（株）HPより）

<https://www.tptc.co.jp/guide/container/distribution>

中央防波堤外側コンテナ埠頭（東京港埠頭（株）HPより）

<https://www.tptc.co.jp/guide/chubousoto/about>

東京港湾事務所の事業概要

<https://www.pa.ktr.mlit.go.jp/tokyo/about/pdf/2025/20250414jigyougaiyou.pdf>

国際コンテナターミナルを知ろう（東京港湾事務所 公式Xより）

国際競争力を強化

https://x.com/mlit_tokyo_port/status/1882643178085601421?s=46

新たなコンテナターミナルの整備

https://x.com/mlit_tokyo_port/status/1829010010778579024?s=46

シャトルブーム式コンテナクレーン

https://x.com/mlit_tokyo_port/status/1841642693979734432?s=46

ジャケット工法の概要

https://x.com/mlit_tokyo_port/status/1846045166953812180?s=46

Y3の工事の工夫

https://x.com/mlit_tokyo_port/status/1852156934197252157?s=46

Y3の施工方法 築造編（前・中・後編）

https://x.com/mlit_tokyo_port/status/1859852765310353594?s=46

https://x.com/mlit_tokyo_port/status/1862351519267659854?s=46

https://x.com/mlit_tokyo_port/status/1872096707451961382?s=46

Y3の施工方法 上部工編

https://x.com/mlit_tokyo_port/status/1879083687549280592?s=46

【別添】

資料申込書

※お申し込み期限：令和7年6月25日(水)12:00

報道機関名	
所属記者クラブ	
担当者名	
連絡先、部署	
電話番号	
メールアドレス	
連絡事項	

※資料申込書の提出にあたっては、以下のメールアドレスにご送付ください。

ご送付先 E-mail: info-t83ab@mlit.go.jp

※ご提供いただいた個人情報は、行政機関の保有する個人情報の保護に関する法律にのっとり、本件に関する連絡のみに利用し、厳正な管理により取り扱います。

お問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局 東京港湾事務所

電話：０３－５５３４－１３６０

(工事に関すること)	副所長(技術) くどう 工藤
	前任建設管理官 こんどう 近藤
(資料・写真映像希望に関すること)	副所長(事務) たぐち 田口
	総務課長 くらしな 倉科